

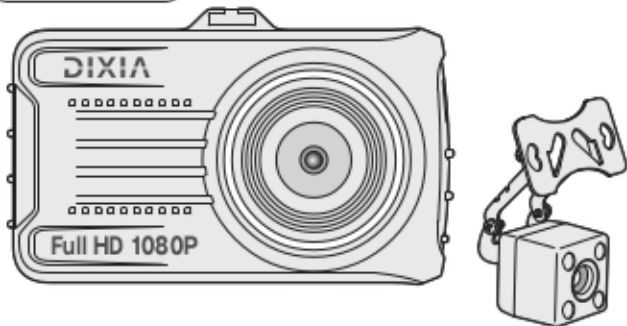


DIXIA

リアカメラ付き フルHDドライブレコーダー

DX-1080RC

取扱説明書



このたびは、リアカメラ付きフルHDドライブレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。事前にこの取扱説明書をよくお読みになり、ご理解した上でご使用ください。また、「安全上の注意」の内容を必ずお守りください。

本取扱説明書の巻末に製品保証書が添付されていますので、必要事項をご記入の上、大切に保管してください。

※イラストはイメージです。実際の外観と異なる場合がございます。また、ボタンの位置等をわかりやすくするため、配色を変更しています。



※本製品のデザイン、仕様は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

目次

1. 安全上のご注意	3	5. 仕様表	28
2. ご使用になる前に		6. 故障かな?と思ったら	29
2-1. 内容物の確認	6	7. アフターサービスについて	34
2-2. 各部の名称と機能	7	製品保証書	巻末
●各ボタンの機能	8		
3. はじめてご使用になるとき	9		
3-1. microSDHC/SDXC カードをセットします	10		
3-2. 充電します	11		
3-3. 時計をセットします	13		
3-4. 本体を取り付けます	13		
3-5. 電源を接続します	15		
3-6. 録画してみましょう	16		
3-7. 再生してみましょう	16		
4. 機能解説	17		
4-1. 各モード相関図	17		
●設定画面でのボタン操作	18		
4-2. ビデオモード	19		
4-3. フォトモード	24		
4-4. 再生モード (ファイルの削除)	24		
4-5. microSDHC/SDXCカードのフォーマット	26		
4-6. 設定値一覧	27		

1 安全上のご注意





この項目では、人への危害や財産の損害を防ぐための注意事項を説明しています。本取扱説明書で使用する各マークには下記の意味があります。

 警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険があります。	 注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人的および物的損害が発生する危険があります。
--	---

■絵表示と絵表示の意味

 してはいけない内容です。	 実行しなければならない内容です。
---	--

警告

-  ●運転中は本製品の操作をしたり、本製品の液晶画面を見ない。
重大な事故の原因となります。運転中は液晶画面表示をオフにしてください。本製品を操作する場合は、必ず安全な場所に停車させてから行ってください。
-  ●運転操作に支障をきたさない場所に本製品、各ケーブルを設置する。
設置の際は運転手の視界のさまたげにならないか確認してください。また、各ケーブルがレバーやハンドル等に絡まないよう、取り回しにはご注意ください。また、運転中に落下しないよう確実に取付を行ってください。
-  ●本製品を分解・改造しない。本製品内に異物を入れない。
火災・感電・故障の原因になります。故障の際はご自分で修理なさらず、販売店またはサポートセンターにお問い合わせください。
-  ●水やその他液体、薬品をかけない。火中に投げ入れない。
火災・感電・故障・爆発の原因になります。



- 指定された電源で使用する。
火災・感電・故障の原因になります。付属のアダプターを使用し、シガーソケット（12Vのみ。24Vには非対応）で使用ください。

⚠ 注意



- 高温になる場所で長時間放置・使用しない。
火災・故障の原因になります。



- エンジンを止めた状態で長時間本製品を使用しない。
車両のバッテリーが放電され、エンジンがかからなくなる可能性があります。また、車種によってはキーを抜いた状態でもシガーソケットから電源が供給されることがあります。不使用時には本製品のシガープラグアダプタをシガーソケットから取り外してください。



- 日本国外で使用しない。
本製品は日本国内用に設計されています。他国では安全基準などが異なる場合があります。



- シガーソケット内の汚れを取り除く。
シガーソケット内にほこりや汚れが付着している場合、本製品の動作が不安定になることがあります。

⚠ 使用上のご注意

●本製品についてのご注意



- ※ドライブレコーダーは事故を防止する装置ではありません。
- ※本製品は、舗装された公道を走行する車両に取り付けて使用することを想定して設計されています。オフロード等の舗装されていない道路を走行する車両や、競技車両には使用できません。
- ※LED式信号機を撮影した場合、信号が点滅、または消灯して映ってしまうことがあります。これはLED信号の同調によるもので故障ではありません。この現象は仕様によるものであり、弊社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

※本機で記録した内容は個人で楽しむ他は、肖像権や著作権に関する法律により、権利者に無断で使用することはできません。動画サイトにアップするなどの行為はお控えください。

●microSDHC/SDXCカード（別売）についてのご注意

※microSDHC/SDXCカードは消耗品です。定期的に新しい物と交換してください（使用期限は各メーカーの保証回数によります）。保証回数を越えたカードを使用すると、正常にファイルが記録されない場合があります。

※本機で使用するmicroSDHC/SDXCカードをPC以外の他の機器（スマートフォン、タブレット等）で使用しないでください。他の機器のデータが入っているカードを使用すると、本機が誤動作を起こすことがあります。

※ご使用のMicroSDHC/SDXCカードは定期的にフォーマットを行ってください。**1カ月に1度を目安にフォーマットしてください。**  **26** 

※すべてのmicroSDHC/SDXCカードの動作を保証するものではありません。動作しない場合、他のカードをご使用ください。

免責事項

- 本製品を設置したことによる車両や車載品の故障、破損については弊社では一切責任を負いかねます。
- 本製品で撮影した動画や静止画は、事故などのトラブルに対して法的な証拠能力を保証するものではありません。
- 本製品の故障、トラブルなどで映像が記録できなかった場合、その他の理由でデータが消失してしまった場合でも、弊社は一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本製品で記録された映像に関するトラブル（被撮影者の肖像権、著作権、プライバシー権等）については弊社では一切責任を負いかねます。

2 ご使用になる前に

2-1. 内容物の確認

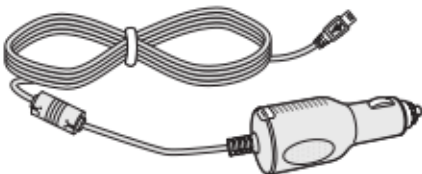
パッケージには本体のほかに、各付属品が同梱されています。
本体や付属品を箱から取り出す際には、破損しないよう十分ご注意ください。



○本体 (1個)



○マウンタ (1個)



○シガープラグアダプタ (1個)
※ケーブル長さ約 3.4m



○リアカメラ (接続ケーブル) (1個)
※ケーブル長さ約 0.4m+5.4m



○USBケーブル
(1本)

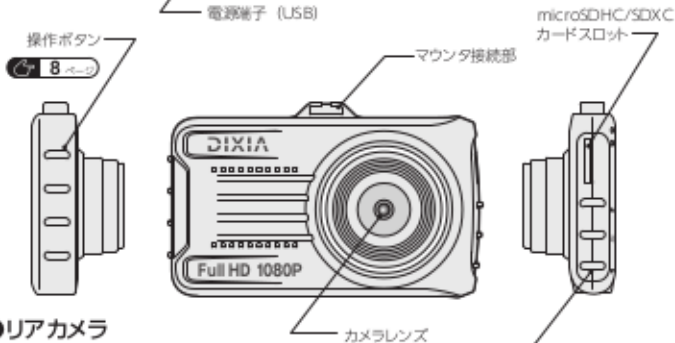
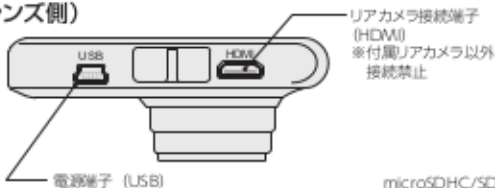


○両面テープ (1個)
※リアカメラ固定用

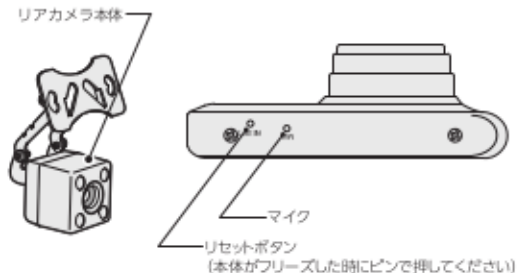
※microSDHC/SDXC カードは付属していません。別途ご用意ください。
※はじめから破損していたり付属品が不足している場合には、34 ページを参照の上、ご購入店、またはサポートセンターにお問い合わせください。

2-2. 各部の名称と機能

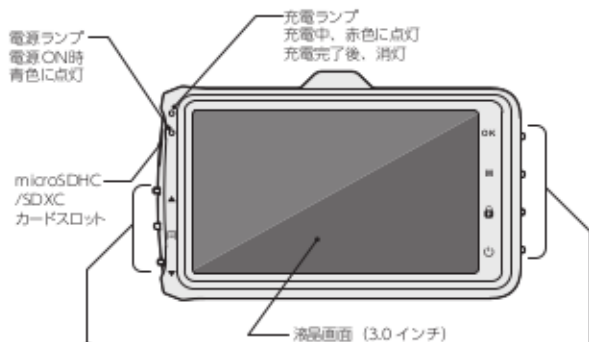
●本体（カメラレンズ側）



●リアカメラ



●本体（液晶画面側・操作ボタン）



操作ボタン（左側）

	ビデオモード：音声録音のON/OFF切替 再生モード：ファイルの選択、再生中は音量調節(小) 設定画面：カーソルの移動
	設定画面の表示
	ビデオモード：フロント・リアカメラ画像のレイアウト切替 再生モード：ファイルの選択、再生中は音量調節(大) 設定画面：カーソルの移動

操作ボタン（右側）

	ビデオモード：録画の開始/終了 フォトモード：撮影 再生モード：ファイルの再生/停止 設定画面：選択項目の決定
	各モードの切替え 設定画面：設定画面の終了
	ビデオモード：録画中のファイルに保護(上書き禁止)をかける
	電源OFF時：電源ON 電源ON時：長押しで電源OFF 短押しで画面表示ON/OFF切替

通常、電源ON/OFFは
エンジン連動



3 はじめてご使用になるとき

本製品をはじめてお使いになるときの操作を、順番に説明しています。

① microSDHC/SDXC カードをセットします **10** ページ

② 充電します **11** ページ

③ 時計をセットします **13** ページ

④ 本体・リアカメラを取り付けます **13** ページ

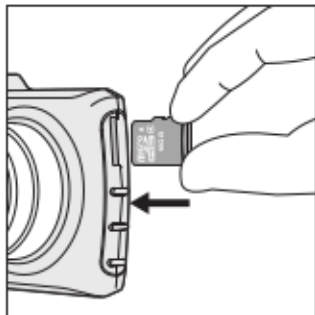
⑤ 電源を接続します **15** ページ

⑥ 録画してみましよう **16** ページ

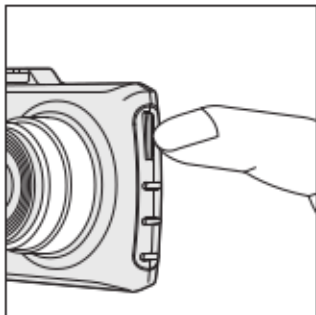
⑦ 再生してみましよう **16** ページ

① microSDHC/SDXC カードをセットします

本体側面にmicroSDHC/SDXCカードスロットがあります。カードの故障を防ぐため、カードの抜き差しは、電源をOFFの状態で行ってください。



①レンズ側にカードの表面を向け、スロットに対してまっすぐ挿入します。



②カチッという音がするまでツメで押し込んでください。押し込んだ後、指を離してもカードが出てこないことを確認してください。

取り外す際は、ツメでカードを押し込み、指を放します。カードが少し出てきますので、まっすぐ引き抜きます。

カードの向きに注意

microSDHC/SDXC カードには表裏があります。逆向きにセットすると、故障します。



表



裏

端子部には触れないでください。



●使用するmicroSDHC/SDXCカードについて

Class10以上のmicroSDHC/SDXCカードをご用意ください（製品には付属していません）。

16GBから最大64GBまでのmicroSDHC/SDXCカードに対応しています。（32GBのカードで約60分撮影可能です。ただし、最大撮影時間を保証するものではありません。）

※カードの不具合を避けるため、録画された映像を定期的を確認してください。

定期的なフォーマット

使用開始後、microSDHC/SDXCカードは1カ月に1度を目安にフォーマットしてください。



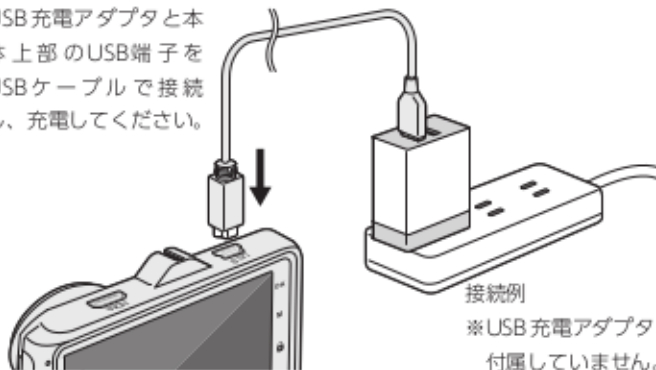
定期的にカードを交換

microSDHC/SDXCカードは消耗品です。定期的に新品と交換してください。1年に1度は交換することを推奨します。

② 充電します

初めてご利用の場合は、必ず充電してください。

USB充電アダプタと本体上部のUSB端子をUSBケーブルで接続し、充電してください。



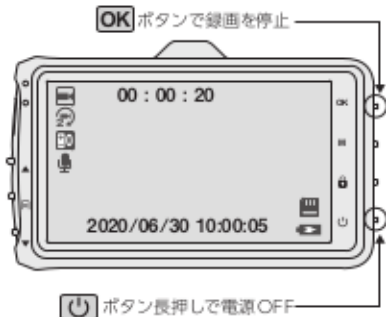
接続例

※USB充電アダプタは付属していません。

電源に接続されると、自動的に電源がONになり、録画が開始されます。

※「SDカードを挿入してください」と表示された場合、microSDHC/SDXCカードが正しくセットされていません。

OK ボタンを押して録画を停止させ、**電源** ボタンを長押しして電源をOFFにします。電源がOFFになっても充電は継続されます。



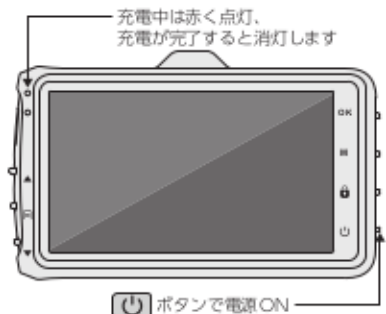
●このまま満充電まで充電を継続します。

USB充電アダプタの規格にもよりますが、1時間程度充電を続けてください。

充電が完了したら、次の手順のために**電源** ボタンを押して電源をONにします。

再び録画が開始された場合は、**OK** ボタンを押して録画を停止させてください。

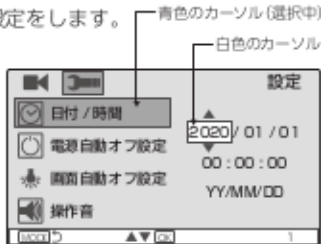
※操作中や充電中に本体が熱くなることがありますが故障ではありません。



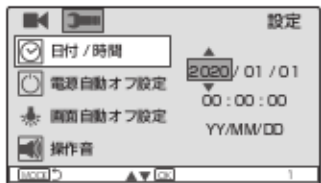
③ 時計をセットします

次の手順で、内蔵時計の日付と時刻の設定をします。

- ① **[目]** ボタンを2回押します。「共通設定」画面が表示されます。**17ページ**
- ② **[▼]** ボタンを1回押して「日付/時間」を選択（青色カーソルが出ます）し、**[OK]** ボタンを押します。



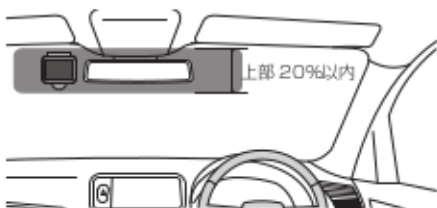
- ③ 青色のカーソルが右側に移動します。「[年/月/日/時/分/秒/表示順]」の順番で設定します。数値は**[▲]****[▼]** ボタンで調整します。カーソルを次の項目に移動させるには**[OK]** ボタンを押します。



- ④ 設定が終わったら**[M]** ボタンを押して設定画面を終了します。

④ 本体・リアカメラを取り付けます

本体（フロントカメラ）の取付位置はフロントガラスの上部20%が目安です。運転操作に支障をきたさないよう、ケーブルの取り回しにはご注意ください。





USBケーブルを本体から外します。(自動的に電源がOFFになります。)

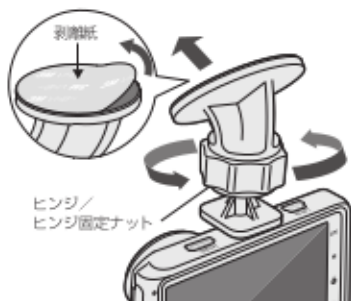
マウンタを本体のレンズ側から本体上部に取り付けます。奥までしっかりはめ込みます。

その後、両面テープの剥離紙をはがし、フロントガラスに本体を取り付けます。

※取付前に、フロントガラスの取付部分の汚れをきれいにふき取ってください。

※取付位置をよく確認してから取付けてください。

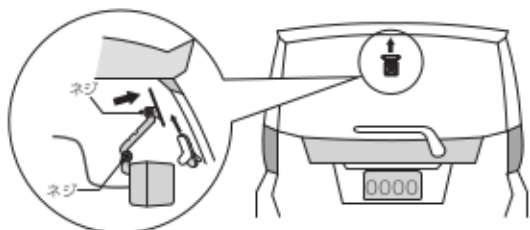
ヒンジでカメラの角度を調節し、固定ナットを締めて固定します。



●リアカメラの取り付け

リアガラスの串内側に両面テープを使用して取り付けてください。

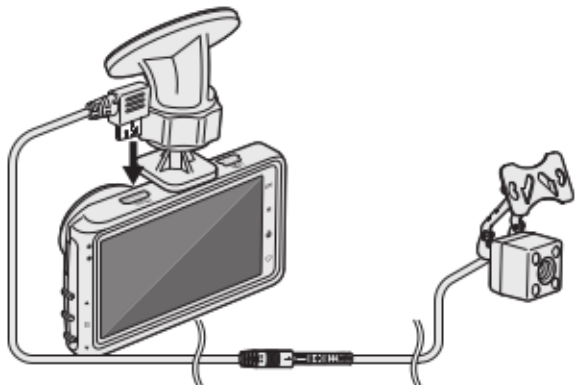
リアカメラには2箇所角度調節ネジがありますので、ドライバーを使用して任意の角度に調節してください。





●リアカメラのケーブルを本体に接続

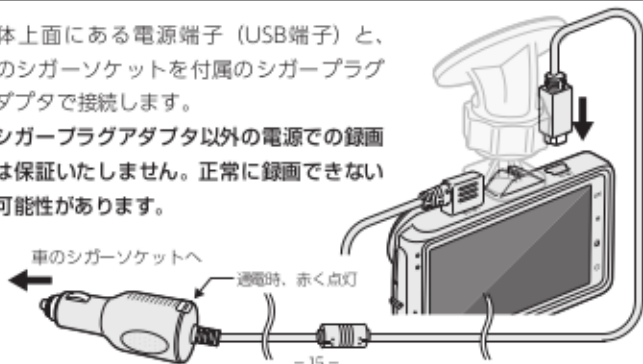
本体上部のリアカメラ接続端子（HDMI 端子）にリアカメラケーブルを接続します。



⑤ 電源を接続します

本体上面にある電源端子（USB端子）と、車のシガーソケットを付属のシガープラグアダプタで接続します。

※シガープラグアダプタ以外の電源での録画は保証いたしません。正常に録画できない可能性があります。



⑥ 録画してみましょう

エンジンをかけ、シガーソケットに通電されると自動的に電源がONになり、録画が始まります。

エンジンを停止し、シガーソケットへの通電が停止されると、自動的に録画が停止し、電源がOFFになります。

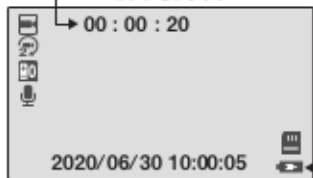
手で録画を停止/再開するには **OK** ボタンを押します。

※最初は試験録画を1分ほど行い、手で録画を停止させてください。

録画経過時間

録画中は赤文字で表示します

※初期設定では2分ごとに録画ファイルが作成されます。
録画経過時間も2分ごとにリセットされます。

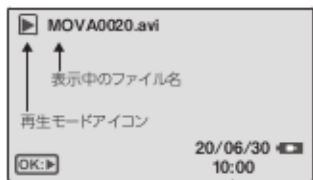


電源に接続されていることを示すアイコンです
点滅表示します

⑦ 再生してみましょう

M ボタンを2回押し、「再生」モード画面にします。

ファイルが複数ある場合、再生したいファイルを **▲** **▼** ボタンで選択します。**OK** ボタンで再生が開始されます。もう一度 **OK** ボタンを押すと再生が停止します。



録画された日時

ファイルの再生やコピーはPCでも行えます。

カードの抜き差しは、電源をOFFにしてから行ってください。

●設定画面の表示方法

ビデオモード時、**[M]** ボタンを一回押すと録画関連の設定が行える「ビデオ設定」画面、もう一度押すとシステム関連の設定が行える「共通設定」画面になります。

再生モード時、**[M]** ボタンを一回押すとファイルの削除、保護の解除などが行える「ファイル操作」画面になります。もう一度押すと「共通設定」画面になります。

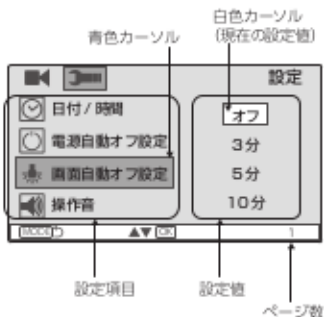
共通設定画面でもう一度**[M]** ボタンを押すと各モードの画面に戻ります。

●設定画面でのボタン操作

設定画面左側に「設定項目」、右側に「設定値」が表示されています。

まず、設定したい設定項目を**[▲]****[▼]** ボタンで選びます。青色のカーソルが移動しますので、カーソルを重ね**[OK]** ボタンを押します。

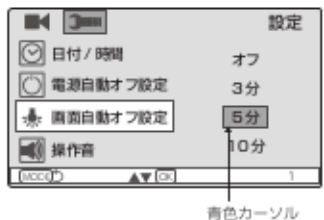
(設定項目は 2 ページ目がある場合があります。)



青色のカーソルが「設定値」側に移動しますので、**[▲]****[▼]** ボタンで設定値を選び**[OK]** ボタンを押します。


青色のカーソルが「設定項目」側に戻ります。

設定画面を終了するには**[M]** ボタンを押します。

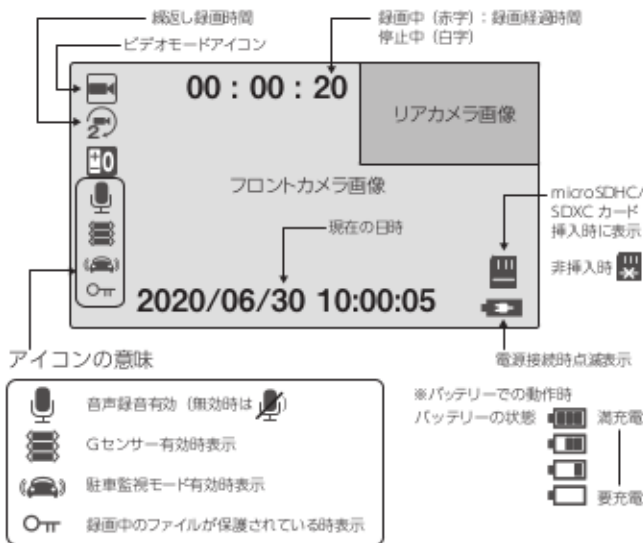


4-2. ビデオモード

本製品は電源がON※になると、ビデオモードで起動し、自動的に録画が開始されます。

※エンジンスタートのほか、 ボタンを長押ししても電源をONにできます。

○画面の構成は下記の通りです。



●録画を停止／再開するには

録画の開始／停止は[OK]ボタンを押します。

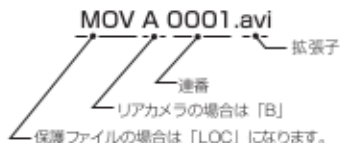
※録画中に電源が切れるなど強制的に録画が中断された場合でも、その時点までに撮影された動画は保存される設計になっています。

●録画／撮影ファイルについて

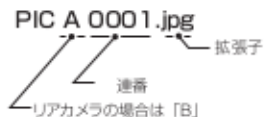
フロントカメラ／リアカメラそれぞれの録画ファイルが作成されます。

撮影データは「DCIM」フォルダ内の「DCIMA」（フロントカメラ）「DCIMB」（リアカメラ）にフォルダに保存されます。フォルダは自動で作成されます。ファイル名の意味は下記の通りです。

※動画ファイルの場合



※静止画ファイルの場合



本製品の内蔵バッテリーについてのご注意

本製品の内蔵バッテリーは、各種設定の保持や時計機能のためのものです。外部電源（シガーソケット）に接続しない状態での録画やその他の操作は保証対象外になります。（駐車監視モードでの録画を除く）

内蔵バッテリーの残量が0になると内蔵時計がその時刻で止まります。再び充電された時に動き始める内蔵時計は現在時刻よりも遅れた状態になります。また、各種設定も初期状態に戻りますので、再度設定を行う必要があります。内蔵バッテリーの残量が0にならないよう、バッテリーのみで長時間動作させないようご注意ください。

●繰返し録画時間について

2分ごとに1つのファイルが作成され、microSDHC/SDXC カードの容量がいっぱいになると、一番古いファイルから削除されて新しいファイルが保存されます。(初期設定)


繰返し録画時間はビデオ設定から変更できます(1分/2分/3分)。



●保護(上書き禁止)ファイルについて

繰返し録画で自動的に上書きされてしまわないよう、大事なファイルを保護(上書き禁止)することができます。

ファイルが保護される条件は下記のいずれかです。

- 録画中に  ボタンを押した時
- 録画中に本体が衝撃を感知した時(G センサー有効時)
- 駐車監視モードで起動、録画した時(駐車監視モード有効時)

G センサー、駐車監視モードは初期値では無効になっています。

〈重要〉保護ファイルとカード容量について

保護ファイルは上書きされないため、増えてくるとmicroSDHC/SDXC カードの容量が不足します。

空き容量が不足したカードでは新たな録画は行なえません。G センサーや駐車監視モードを有効にした場合は特にご注意ください。短期間で空き容量が不足する可能性があります。

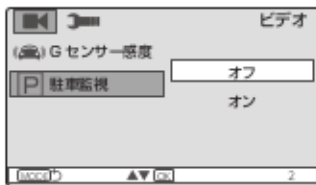
重要な録画ファイルは PC 等で保存し、カードは定期的にフォーマットを行うか、新品と交換してください。

●駐車監視モード


エンジン停止中、衝撃を感知した時に起動し、10 秒間録画を行います。録画ファイルは保護されます。録画が終了すると、電源は自動的に OFF になります。

駐車監視モードは「ビデオ設定」で ON / OFF を切り替えることができます。初期値は OFF です。

- ①ビデオモードで **[目]** ボタンを 1 回押します。
- ② **[▲]** **[▼]** ボタンで「駐車監視」を選択し、**[OK]** ボタンを押します。
※ 2 ページ目にあります。



- ③ **[▲]** **[▼]** ボタンで「オフ/オン」を選択し、**[OK]** ボタンを押します。
- ④ **[M]** ボタンを押して設定画面を終了します。

※駐車監視モードが ON の時、ビデオモード画面に  のアイコンが表示されます。

※充電電池の残量が十分でない場合、またカードの空き容量が不足している場合は録画が行われません。

●音声録音




初期値では録画時、音声録音を行います。**[▲]** ボタンを押すと音声録音の ON/OFF を切り替えることができます。

●G センサー

本体が衝撃を感知した時、録画中のファイルを保護（上書き禁止）します。G センサーは「ビデオ設定」で ON / OFF、感度の設定を行うことができます。初期値は OFF です。🔗18ページ

G センサーの感度は「弱 / 中 / 強」（下記表参照）から選択できます。

※G センサーが ON の時、ビデオモード画面にアイコンが表示されます。

	設定	意味
	弱	軽微な振動も感知しません（感度：高）
	中	中程度以上の衝撃を感知します（感度：中）
	強	強い衝撃のみ感知します（感度：低）

●液晶表示を消すには

録画中、液晶表示を消すには🔘ボタンを短押しします。

自動的に液晶表示を消すには、共通設定画面から「画面自動オフ設定」の時間を設定します。🔗18ページ

●画面レイアウトを変更するには

初期状態では画面右上にリアカメラの映像が表示されています。

▼ボタンを押すと、画面レイアウトを変更することができます。

●録画ファイルの解像度について

初期値では、フロントカメラの動画は 1080FHD (1920×1080)、リアカメラの動画は 720P (1280×720) です。

「ビデオ設定」から、フロントカメラの解像度のみ変更することができます。

🔗18ページ

4-3. フォトモード

ビデオモードから一回 **[M]** ボタンを押すとフォトモードになります。
静止画を撮影するには、フォトモードで **[OK]** ボタンを押します。

4-4. 再生モード

ファイルを再生するモードです。ファイルの削除や保護／保護の解除などを行うことができます。ビデオモードから2回、フォトモードから1回 **[M]** ボタンを押すと再生モードになります。

●ファイルの再生 16

●ファイルの削除

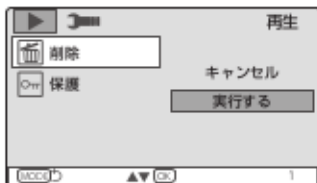
再生モード時、**[目]** ボタンを1回押し、
ファイル操作画面を表示します。

[▲] **[▼]** ボタンで「削除」を選択し、
[OK] ボタンを押します。



表示中のファイルのみ削除する場合は「削除」、保護ファイル以外すべて削除する場合は「すべて削除」を選択し、
ボタンを押します。

▲▼ボタンで「実行する」を選択し、OKボタンを押します。



※保護ファイルも削除するにはフォーマットを行います。🔍 26 ページ

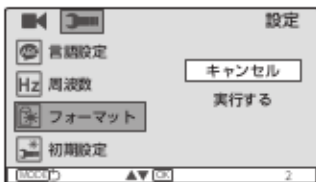
●保護、保護の解除

表示中のファイル、または全てのファイルに保護をかける／保護を解除することができます。

ファイルの削除と同様の手順で操作を行ってください。

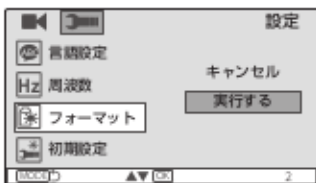
4-5. microSDHC/SDXC カードのフォーマット

- ①各モードの画面から、**[M]** ボタンを2回（フォトモードからは1回）押して共通設定画面を表示させます。



- ②**[▲]****[▼]** ボタンで「フォーマット」にカーソルを合わせて**[OK]** ボタンを押します。

- ③**[▲]****[▼]** ボタンで「実行する」にカーソルを合わせて**[OK]** ボタンを押します。



- ④**[M]** ボタンを押して元の画面に戻ります。

4-6. 設定値一覧

設定項目	設定値(初期値は太字)	説明
共通設定		
日付/時間		内蔵時計の設定
電源自動オフ設定	オフ / 1分/3分	一定時間操作なしで電源 OFF
画面自動オフ設定	オフ / 3分/5分/10分	一定時間操作なしで表示 OFF
操作音	オフ/オン	ボタン操作音
言語設定	English / 日本語	システム表示言語
周波数	50Hz / 60Hz	
フォーマット	キャンセル/実行する	microSDHC/SDXCのフォーマット
初期設定	キャンセル/実行する	設定値を初期状態に戻す
バージョン		システムのバージョン表示
ビデオ		
解像度	1080FHD / 720P	フロントカメラの録画解像度
繰り返し録画時間設定	1分/ 2分 /3分	1ファイルあたりの録画時間
音声録音	オフ/オン	音声録音のオン/オフ
日付表示	オフ/オン	画面内に日時を表示
G センサー感度	オフ/弱/中/強	23 ページ参照
駐車監視	オフ/オン	22 ページ参照
再生		
削除	削除/すべて削除	ファイル削除
保護	ロック/ロック解除/全ファイル ロック/全ファイルロック解除	ファイル保護/保護解除

5 仕様表

型番	DX-1080RC	
対応電源	シガーソケット電源 (DC12V) / USB 電源 (5V) ※	
内蔵バッテリー	リチウムイオン電池 200mAh	※USB 電源では正常に録画できない場合があります。
記録媒体	microSDHC/SDXCカード16GB～64GB(class 10以上推奨) ※32GB での録画時間：約 60 分 ※時間は目安であり、60 分間の録画を保證するものではありません。	
カメラ画素数	200 万画素 (リアカメラ 100 万画素)	
機能	駐車監視：有 Gセンサー：有	
動画サイズ	1920×1080 27.5fps (リアカメラ 1280×720 25fps)	
静止画サイズ	1920×1080 (リアカメラ 1280×720)	
液晶サイズ	3.0 インチ	
動作環境温度	0～45℃	
外形寸法	約 87 (幅) × 32 (奥行き) × 53 (高さ) mm	
重量	本体 約 100g リアカメラ約 30g	
付属品	リアカメラ、マウンタ、シガープラグアダプタ、 本体-リアカメラ接続ケーブル、USB ケーブル、取扱説明書	

お手入れ・メンテナンス





本体部分の汚れは柔らかい布で乾拭きしてください。本製品は精密機器のため、水や洗剤等、液体は使用しないでください。


●廃棄する場合は

本製品を廃棄する場合は、お住まいの自治体が定める方法に従って廃棄してください。

6 故障かな?と思ったら

<p>電源が入らない (電源が不安定)</p>	<ul style="list-style-type: none">○シガープラグアダプタが正しく装着されているか確認してください。👉15👈○シガーソケット内が汚れていたり、埃が付着していると正しく給電されません。清掃を行ってください。○バッテリーのみで動作させている場合、バッテリーが放電されている可能性があります。本製品のバッテリーは日時等の設定保持専用です。電源に接続して使用してください。
<p>電源が勝手に切れる 録画が勝手に止まる</p>	<ul style="list-style-type: none">○電源に正しく接続されているか、コネクタを確認してください。👉15👈○ご使用のmicroSDHC/SDXCカードに不具合が生じると撮影した録画ファイルのカードへの保存ができなくなり、録画が止まっていたり、電源が切れたりする場合があります。まず、ご使用のmicroSDHC/SDXCカードをフォーマットして正常に使用できるか確認し、壊れたカードは、新しいカードと交換してください。👉26👈○Gセンサーを有効にした場合など、短期間で保護ファイルが増えてご使用のmicroSDHC/SDXCカードの空き容量が不足する場合があります。新たに録画できなくなりますので、大事なファイルはPC等でバックアップをとり、定期的に

	<p>フォーマットを行うか、新しいカードと交換を行ってください。</p> <p>○電源ONのままリアカメラ接続端子にリアカメラからのケーブルを接続すると、液晶表示が消えたり、電源が切れる場合があります。  ボタンを長押しするか、本体底面のリセットボタンを押して強制的に電源OFFにし、その後再起動してください。</p> <p>ケーブルの接続は必ず電源をOFFにしておこなってください。</p>
<p>日付時刻設定がずれる</p>	<p>○内蔵バッテリーが放電すると、時計保持が解除され日付時刻が初期設定に戻っている場合があります。長時間使用せず放置された場合は必ず、日付時刻が合っているか確認し、ずれていたなら再設定してください。  13ページ</p>
<p>LED信号機の光が正しく撮影できない</p>	<p>○LED信号機の周波数とカメラのフレームレートが同期して、信号機の光源が点滅したり映らないという現象が発生することがありますが、故障ではありません。</p>
<p>リアカメラの映像が表示されない／録画されない</p>	<p>○ケーブルがきちんと接続されているか確認してください。</p> <p>○録画モードで  ボタンを押すとフロントカメラ／リアカメラの表示レイアウトが変更できます。何度か  ボタンを押し、リアカメラの画像が表示されるか確認してください。</p>

<p>液晶画面が消えた</p>	<p>○「画面自動オフ設定」の時間を設定した場合、一定時間操作がないと画面表示がオフになります。その場合、いずれかのボタンを押すと再度画面表示されます。🔍 23ページ</p> <p>○電源ONのままリアカメラ接続端子にリアカメラからのケーブルを接続すると、液晶表示が消えたり、電源が切れる場合があります。 ボタンを長押しするか、本体底面のリセットボタンを押して強制的に電源OFFにし、その後再起動してください。 ケーブルの接続は必ず電源をOFFにしておこなってください。</p>
<p>ファイルが保存されていない／ファイルが壊れていて読み込めない</p>	<p>○microSDHC/SDXCカードが正しくセットされているか確認してください（カチッと音がするまで入れてください）。 また、microSDHC/SDXCカードが無ければ撮影はできません。🔍 10ページ</p> <p>○新品、または他の機種で使用していたmicroSDHC/SDXCカードは本製品にセット後、フォーマットしてから使用してください。🔍 26ページ</p> <p>○microSDHC/SDXCカードが壊れている可能性があります。確認し、新しいカードと交換してください。</p> <p>○Gセンサーを有効にした場合など、短時間で保護ファイルが増えてご使用のmicroSDHC/SDXC</p>

	<p>カードの空き容量が不足する場合があります。新たに録画できなくなりますので、大事なファイルはPC等でバックアップをとり、定期的にフォーマットを行うか、新しいカードと交換を行ってください。</p> <p>○使用できるのは16GBから64GBのclass10以上のカードです。規格が異なる場合、本製品で使用することができません。</p> <p>○microSDHC/SDXCカードは消耗品です。定期的にフォーマットをして使用し、フォーマットしても使用できないカードは、新しいカードと交換してください。</p>
<p>ボタン操作ができない／本体が操作できない</p>	<p>○本体底面のリセットボタンを押してください。強制的に電源OFFになりますので、再度電源を入れてください。</p> <div data-bbox="446 744 868 895" data-label="Image"> </div> <p>ピン状のもので押してください</p>

液晶画面表示が 乱れる	○申内が低温時に本体の液晶画面が乱れることがあります。その場合、エンジンをかけしばらく通電すると暖まり回復します。その後使用してください。
本体が熱くなる	○操作中や充電中に本体が熱くなることがありますが、故障ではありません。

※うまく動作しないときは、まず上記の項目をチェックしてください。
該当する項目がない場合、または対策を試しても直らない場合は、販売店にご相談ください。

7 アフターサービス

①保証書

この取扱説明書には保証書がついています。保証書はお買い上げの販売店で「販売店名・お買い上げ日」等の記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間は本体のみお買い上げ日より1年間です。

②初期不良について

本体や付属品がはじめから破損、または不足している場合は、購入日と購入店を証明できる書類をご用意のうえ、14日以内に販売店または下記サポートセンターまでご連絡ください。14日を過ぎての交換依頼には応じられません。

③修理を依頼される時

※保証期間中は製品に保証書を添えてお買い上げ販売店へご持参ください。保証規定の記載内容により、無料修理致します。

※保証期間経過後の修理は、修理すれば使用できる製品については有料で修理を承ります。

※保証期間内外に関わらず、当社に直接お送り頂く際の送料は、お客様負担とさせていただきます。

※保証期間内外に関わらず、いかなる理由におきましても、お客様が業者に依頼して発生した本製品の取り付け・取り外しの費用等は弊社では一切責任を負いかねます。

※本製品の故障による代替品の貸出は一切行っておりません。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明な場合は、お買い上げの販売店、または下記サポートセンターにお問い合わせください。

アフターサービスのご案内

サポートセンター
電話番号 **03-6803-0191**

受付時間：10：00～12：00、13：00～17：00
(土、日、祝祭日および当社規定休業日を除く)

製品保証書

持込修理

〈保証規定〉

このたびは、DIXIA リアカメラ付きフル HD ドライブレコーダーをご購入頂きありがとうございます。当社ではアフターサービスを提供することを保証いたします。お客様の權益を保護するため、下記の文章をご覧ください。

- ①ご購入日から1年以内に正常なご使用で故障が発生した場合、製品と、保証書をご持参のうえ、お買い上げ販売店にお申しつけください。当社無料修理保証規定に基づき無償で本体を修理、または新品と交換いたします。
 - ②本体以外の付属品については、初期不良時の交換のみ無償対応いたします。（購入日より14日以内）
 - ③本製品をネットオークション、ネットフリーマーケットまたはそれに類する条件で入手した場合は製品保証の対象外となります。
 - ④本製品を他者から譲り受けた場合、製品保証の対象者は購入者本人となります。当保証規定に基づく修理や初期不良交換の依頼は購入者本人（購入したことを証明し得る者）が行う必要があります。
 - ⑤保証期間でも次のような場合には有料修理となります。
 - ※使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - ※お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引越し、輸送等による故障または損傷。
 - ※火災、地震、水害、落雷、その他天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
 - ※業務用としての使用、船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。
 - ※本書の提示がない場合。
 - ※本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - ⑥本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.
- 所定記入欄が空欄のままですと、本書は有効とはなりません。記入のない場合はただちにお買い上げの販売店へお申し出ください。
 - 太枠線内はご購入後、お客様自身をご記入ください。
 - 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

製品保証書

製品名

リアカメラ付きフルHDドライブレコーダー DX-1080RC

保証期間(お買い上げ日より)

本体 1年間

お買い上げ日

年 月 日

お
客
様

フリガナ

お名前

様

ご住所 〒 -

電話番号() -

取扱販売店名・住所・電話番号

販売元 株式会社TOHO

TOHOサポートセンター

Tel.03-6803-0191

受付時間：月～金 10:00～12:00 13:00～17:00
※土日、祝祭日はお休みを頂いております。